

第2回ランチョンセミナー
「育種学会における男女共同参画を目指して Vol. 2
－東京農工大学における女性研究者支援－」
開催報告

開催日時 2008年3月29日 12:10 - 13:20

開催場所 明治大学理工学部

表記内容に関する本学会における第2回のセミナーを本学会の男女共同参画推進委員会を中心となって春季大会期間中の昼食時に開催した。委員以外の参加者は、75名（男性44名、女性31名；前回より16名増）であった。

今回のセミナーでは、第一に、東京農工大学女性キャリア支援・開発センター コーディネータ（特任准教授）の秋田カオリ氏より、科学技術振興調整費「理系女性のエンパワーメントプログラム」による支援を受けての同センターの取り組みとその成果について紹介がなされた。その主な活動内容は、以下の4項目に集約される。

1) 学生向けのキャリアパス支援

大学院生が学部生の研究生活や進路についての助言を行うメンター制度、キャリアガイダンスの開催、次世代の人材育成支援として女子中高生のサマースクールの開催

2) 教員・研究員向けの出産・育児・介護支援

出産・育児、介護の負担があっても研究を継続していけるように、センターの特任助手の派遣やポストクの配置をして対象者の研究業務を支援する制度、ベビーシッターやケア・ワーカーのサービスを割り引きで受けられるクーポン制度、周辺自治体と連携した出産・育児・介護の相談窓口の設置

3) 卒業生向けの「母校に戻ろうキャンペーン」

卒業生を対象とした就労・再就職の支援を目的としたセミナーの開催、研究生・科目等履修生の学費免除制度、卒業生が情報の共有やコミュニケーションを行うためのオンラインサービスの運営

4) 女性研究者に関するエンパワーメント環境整備

同大学の男女共同参画推進室との連携による職員・学生を対象としたアンケートの実施、女性研究者自立支援のための講演会の開催、就業規則の改正等

講演後、質疑が行われた。3年間の振興調整費による支援や半年間の産休中のポストク配置制度といった期限のある活動の終了後の対応に関する質問があった。前者に関しては、センターは継続することとなっており、経費がかからないような運営の仕方を検討していくとの回答があった。後者に関しては、半年間でも採用希望者が存在するという実情、な

らびに、任期中に他の仕事先が見つかった事例や採用期間後を当該研究室の他の資金で支援してもらった事例が紹介された。卒業生の支援の利用状況について質問があり、利用は若い世代が中心であるが、年配の方にも利用されていることの回答があった。また、女性の教授等の PI (principal investigator) の割合の動向に関する質問があり、このことに関する同大学の学長からの呼びかけや同センターが女性教員の割合を増やすべくはたらきかけをしている旨が紹介された。

講演に続いて、本学会の男女共同参画推進委員会の委員長である吉田 薫氏より科学技術振興調整費による各大学の活動が紹介された。その特色のある取り組みの例として、北海道大学における、各学部管理の運営費における新規採用女性教員人件費の一部を全学運用分から補填することを女性教員採用のインセンティブとしている事例、東北大学における、女性大学院生が身近なロールモデル(手本)として母校へ出張セミナーを実施している事例、お茶の水女子大学における、育児中の女性研究者への研究補助員および事務補佐員の配置、ワークライフバランスのための適正な勤務時間の励行、事務連絡をしない研究専念タイムの設定を行っている事例、京都大学における病児保育室の設置や入園待機児のための保育の実施、北海道大学・熊本大学における若手研究者カップルの同居支援制度、神戸大学におけるロールモデルや助言を提供できるメンターラボ制度、東京大学における女性研究者の国際力の育成を目的とした国際シンポジウム開催支援等が紹介された。

同委員会の委員からは、男女共同参画のための環境が整備されることを望むこと、このことに関する知識が十分でない人が多いことから、発言を望んでいること、啓発活動の重要性や男女共同参画社会基本法の理念を男性女性とも再認識してほしいといった呼びかけがなされた。

同委員会による前回のセミナーの際に行ったアンケートでは、本学会の会員から多数のご意見をいただいた。現在、同委員会の活動を本学会のホームページに掲載する準備をしており、その中でいただいたご意見や、関連する情報を提供していく予定である。本件に関するご意見やご提案は、随時、委員長宛に送られたい。今回の明治大学開催の講演会では、丸橋 亘 大会委員長をはじめとする組織委員の方々のご尽力により、6年ぶり(帯広大会以来)で保育室を設置することができた。また、今大会より大会期間中における保育室運営補助が行われることとなった。会員各位には、保育室を活用し、積極的に大会へご参加いただくことを委員一同、望んでいる。

なお、今回、講演をしていただいた東京農工大学の女性キャリア支援・開発センターの活動に関しては、以下のwebサイトでその詳細情報を得ることができる。ご参照いただきたい。<http://www.tuat.ac.jp/~dan-jo/center/about.html>

(文責：金澤 章)